

こんな時代だからこそ届けたい歌がここにある――

「日本に生まれてよかった」

5月12日(水)発売!

特別寄稿

「日本に生まれてよかった」

都倉俊

(作詞作曲)

佐藤和豊 (編曲)

「ぼつんとひとりきり」

南こうせつ (作曲)

松井五郎 (作詞)

猪股義周 (編曲)

「このままずっと」

幸耕平 (作詞)

佐藤和豊 (編曲)

五木ひろしインタビュー

この曲を歌うのは、たくさんの人に支えられてきた僕の運命だった。そんな気がしています。



都倉俊一

Shunichi Tokura

作詞/作曲

「日本に生まれてよかった」と
 思える日が一日も早く来る
 ことを祈って。



作曲家・編曲家・プロデューサー

70年代から「日本レコード大賞 作曲賞」「日本歌謡大賞」「東京音楽祭最優秀作曲賞」「日本セールス大賞 作曲賞、編曲賞」「日本レコード大賞」など、日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞する。世に出したヒット曲数は1,100曲を超える。レコード売上枚数は6万枚を超える。その他多くの映画音楽、テレビ音楽を手掛けている。2021年4月1日付、文化庁長官に就任。

Message

私は日本という国が大好きで、以前から日本を想う歌を作りた
 と思っていました。アメリカにはあのアーヴィン・バーリン作曲の
 「God Bless America」という歌があり一世紀近く第二の国家とし
 て愛唱されています。日本でもそういう歌ができないものだろうか
 と以前から思っていました。この曲は10年ほど前に作りました。ジャン
 ルを問わず10人以上歌手に歌ってもらいデモを作りましたが、今一
 つピンとくるものがありませんでした。ある時五木さんと会食をす
 る機会があり、近くにピアノがあったのでこの曲を弾いたところ五
 木さんも気に入ってくれレコーディングに至ったわけです。お互い五
 十年以上音楽界にいますが一度も仕事をすることがなくこれも巡
 り合わせだと感じます。

何といつても五木さんの歌唱は言葉が伝わります。この曲は私の作
 詞・作曲ですが、本来作曲家なので旋律に気が行きますが、今回
 は言葉が胸に強く響きました。

コロナ禍が過ぎ、世の中が平安になり「ああ、日本は素晴らしい国
 だな、日本に生まれてよかった」と思える日が一日も早く来るこ
 とを祈らざるを得ません。

この曲が国民的な愛唱歌になることを期待しています。



佐藤和豊

Kazuto Sato

編曲

今回この素晴らしい作品の、編曲を担当させて頂き本当に光栄です。「日本」を感じられる
 情景描写や、美しくもどこか懐かしさを感じる都倉先生の詩曲により、この曲の世界観が素
 晴らしく描かれています。自分も今回この曲を通して、いつしか忘れかけていた、日本の美しさ
 というものを再認識出来たと思います。レコーディング当日は20数名の、スタジオミュージシャン
 が一斉に音を奏でる訳ですが、指揮台に座り、最初の音が出た瞬間は、いつになく鳥肌が立
 ったのを覚えています。全体的に和音の進行は詩に合わせたアプローチに、なっているとありますが曲のラスト、
 ピアノが長く音を繋いでいく部分には、「日本には良いところがある、まだまだある。」という意味が込められてい
 ます。歌詞をより聴こえさせるために、2コーラス目のサビまでリズム楽器が出てこないのも、普段にはない、ちょ
 っとした特徴かもしれません。世の中が今、このような状態だからこそ今一度振り返り、誇るべき日本を忘れては
 いけないという思いを込めて、この作品がより多くの方々の心に、深く響く作品となりますことを願っております。

Hiroshi Itsuki
Interview「日本に生まれて
よかった」

作詞：都倉俊一 照井卿
 作曲：都倉俊一
 編曲：佐藤和豊

都倉先生とは、長年、流行歌を作る音楽人同士、認
 め合いつつ歩んできましたが、これまで仕事をやる機会
 がありませんでした。それが数年前、偶然、愛犬と食
 事ができるお店で顔を合わせ、その後、僕の息子の親友
 のご一家と都倉先生が親しいこともわかり、交流が続く
 中で、先生の大切な曲と出会うことができました。

海外生活が長い先生は、日本のよさをよくご存知です。
 僕も二十代から海外公演などの経験を積んできたので、
 先生の思いはよくわかります。先生が自ら書かれた歌詞
 には日本の四季の美しさ、家族の絆など、日本のよさが
 見事に描かれています。こどもからお年寄りまで親しめ
 るやさしいメロディも大きな魅力です。

この曲をいつ世に出すべきか悩みましたが、コロナ禍で、
 つらいことも多い今、その終息を願う気持ちでこの歌を
 歌おう。僕はそう決心しました。五木ひろしになって五
 十年。日本のよさを伝えるのは、大きなテーマで、身が
 引き締まる思いですが、この曲を歌うのは、たくさんの
 人に支えられてきた僕の運命だった。そんな気がしてい
 ます。



南こうせつ

Kosetsu Minami

作曲

「ぼつんとひとりきり」が
そっと誰かの心を
慰めることができたなら。

五木さんとは1970年にTVのオーディション番組で出会いました。五木さんの歌声はあれからずっと50年以上に渡って人々に愛され続け、今も歌手としてトップの座におられます。これは奇跡に近いです。かくいう僕も70代という人生の大台に乗り、なんとか生き残りをかけて歌いながら、折々に五木さんとのご縁を感じています。今回コロナ禍で去年の2月からコンサートを行えない状況となり、ゆっくりと自分と向き合う中で、ふと五木ひろしのために歌を作るというインスピレーションを感じました。人生とは？ 歌とは？ ロマンとは？ ギターを弾きながら溢れるままにメロディーを口ずさみました。去年の暮れ、渋谷公会堂での僕のコンサートに幸運にも五木さんがゲスト出演して下さることになりました。早速できたばかりの歌をリハーサル中に聴いていただいたところ、気に入ってくださった様子でした。嬉しかったです。作詞は五木さんの希望で松井五郎さんをお願いしました。（実は僕もそう思っていました。）松井さんとお会いして二人で長時間にわたり人生を静かに語り合いました。歌の世界で生きて行く人間模様の光と影の話や、明日はどこへ流れ着くのか見えない不安と孤独な日々のことなど。それはまたこのコロナ禍で誰もが感じていることだと思います。五木ひろしという一人の歌い手を通して、共感できる思いを人から人へ伝えて、そっと心を慰めることができたら、それは素敵なことだなあと改めてこの歌を作りました。

松井五郎

Goro Matsui

作詞

南こうせつさんからご連絡を頂き、古き良き昭和の匂いもあり、どこか童謡のような懐かしさもあるメロディをお預かりしました。メロディが持っている美しさを邪魔しない、ふっと口ずさんでみたくなるような言葉を探しました。五木さん、こうせつさんには、これまでも歌詞を書かせて頂きましたが、今回尊敬するお二人の作品に関わらせて頂き、大変光栄に思います。



猪股義周

Yoshichika Inomata

編曲

「ぼつんとひとりきり」のアレンジ依頼をいただき、南こうせつさんの作曲であることを知りました。私は、こうせつさんのお名前を聞くと必ず「神田川」を思い出してしまいます。当時私は、秋田の田舎に暮らす高校3年生でした。卒業後上京する可能性が高かったので、「神田川」を聴き、東京への憧れ・夢・不安といったものを強く思い抱いていました。だからか、今でも「神田川」を聴くと、当時の友人・今はいない家族・秋田の景色などを思い出し、胸が締めつけられるほどの懐かしい気持ちになります。「ぼつんとひとりきり」のデモを聴き松井五郎さんの詩を読んだ時 そんな聴いた人が、懐かしく暖かい気持ちになれるようなオケにしたいと思いました。私はアレンジをしてオケができ、歌い手さんの歌がのった時、曲に対する想いや方向性が合っていると、とても幸せな気持ちになります。逆に、それが間違ったり食い違っていた時は、とても残念な気持ちになります。「ぼつんとひとりきり」のオケができて、五木さんの歌がのった時 とてもとても幸せな気持ちになりました。涙が出るほどです。そう 雨の降らない空なんかいいですね。皆様も聴いてみて下さい。「ぼつんとひとりきり」



「ぼつんとひとりきり」

作詞：松井五郎
作曲：南こうせつ
編曲：猪股義周



南こうせつさんとの出会いは、51年前。僕が五木ひろしになるきっかけとなった番組「全日本歌謡選手権」です。僕がいよいよ十週勝ち抜きに挑戦というとき、こうせつさんの「かぐや姫」も番組に出ていて、なぜか気が合った彼を僕は洗面所に呼び出し、もうすぐ出す曲を聴いてほしいと、ギターの弾き語りで「よこはま・たそがれ」を歌いました。こうせつさんは「これ、絶対売れる」と言ってくれました。以来、彼は「世の中で『よこはま・たそがれ』を最初に聴いたのは自分だ」と自慢してくれています（笑）。

去年、彼のコンサートに出たとき、リハーサル室で「僕のために曲をつくった」とハミングで歌ってくれたのが、この曲です。まだ詞はなかったですが、とてもよかったです。僕もこうせつさんも、松井さんに詞を頼もうと意見が一致。僕らが願った通りのステキな詞ができました。

今回の三曲は、すべて「縁」がきっかけで僕のところに来ました。長く歌の仕事をするとはこういうことかな、頑張り続けているといういろいろつながっていくのかな。頑張ってきた甲斐があったとしみじみ思います。

このままずっと、若い歌手や作曲家達の憧れの歌手のままで。



幸耕平

Koshi Miyuki

作曲

初めて五木さんに「紫陽花」という歌を書いた何年か後、今から約20年前に作った曲です。近頃、市川由紀乃に聴かせたところ、良い曲だと由紀乃が五木さんへ伝えてくれて、歌ってもらえる事が出来ました。作詞の松本礼児さんとは、詩が先とか曲が先とかではなく、僕がメロディーを作ると少しずつ詩をはめてメロディーを作っていくという、バンド的にいつも一緒に歌を作っていました。まさにこの曲はそうでした。この曲の一番の聴かせどころは、「このままずっと このままずっと そばにいて欲しい」というところです。妻子ある人を好きになり、泊まらず帰っていく男性に、このままずっといて欲しいという願望を描いた曲です。

五木さんと僕は同い歳です。もう既に日本の歴史に残るスーパースターですが、健康に気を付けて頂き、この先もまだまだずっと現役の歌手として、良い歌を歌い続けて欲しいですし、若い歌手さんの目標であり、作曲家達の憧れの歌手であって欲しいと思います。

佐藤和豊

Kazuto Sato

編曲

作詞の松本礼児先生の詩が奥深く切ない世界観に、幸耕平先生のメロディが素晴らしく絡み合い、女性の心情が深く描かれた作品だと思います。間奏に出てくるクラビエッタという、ピアノの元になったイタリア楽器ですが、この楽器が奏でる音が何とも切ない女性の心情を、描写する響きの要因になりました。全体的には、やはりドラマチックな和音進行を心掛けました。ちょっとしたハーモナイズで、聴いてる方の心をグッと切ない気持ちにさせる事が出来るのは、音楽の不思議な魅力ですね。

何と言っても、五木さんの歌唱は勿論の事、詩を伝える力強さには本当に感銘を受けました。作曲の幸耕平先生とも、この作品で初めてご一緒させて頂きました。素晴らしいメロディーメーカーの作曲家で温かくも優しい先生でいらっしゃいます。この作品を作詞の故・松本礼児先生が、聴いて喜んで下さる事を願ってやみません。



NEW SINGLE

2021年5月12日(水)発売!

「日本に生まれてよかった」

日本に生まれてよかった／ぼつんとひとりきり／このままずっと

マキシシングル・シングルカセット
【品番】FKCM-47
【定価】¥1,500 (税込)

発売元：株式会社ファイブズエンタテインメント
販売元：キングレコード株式会社

収録内容

1. 「日本に生まれてよかった」
作詞：都倉俊一 原井輝 / 作曲：都倉俊一 / 編曲：佐藤和豊
2. 「ぼつんとひとりきり」
作詞：松井五郎 / 作曲：南こうせつ / 編曲：猪股義周
3. 「このままずっと」
作詞：松本礼児 / 作曲：幸耕平 / 編曲：佐藤和豊
4. 「日本に生まれてよかった」(オリジナルカラオケ)
5. 「ぼつんとひとりきり」(オリジナルカラオケ)
6. 「このままずっと」(オリジナルカラオケ)

お近くのレコード店または各地コンサート会場にてお買い求めいただけます。
また、Apple Music、Spotify、YouTube Music などのサブスクでもお聴きいただけます。



「このままずっと」
どうか、この歌の世界に浸っていただきたいと思います。

作詞：松本礼児
作曲：幸耕平
編曲：佐藤和豊

「このままずっと」は、女歌。男の僕が女性の切ない心情を表現しなければいけません。でも、歌舞伎の女形と同じで、男性が女性をうまく演じるとしても色気が出せる。僕が女歌を歌う時は、そのことを心してレコーディングに臨みます。由紀乃さんはレコーディングのスタジオに来てくれて、僕が歌った三番の歌いだしにある「あなた」という言葉の表現に感動したと話してくれました。



この曲は、市川由紀乃さんが、師匠である幸耕平先生のところで聴いて「五木さんにぜひ歌ってほしい」と橋渡しをしてくれて僕のところへ届きました。僕は24年前、幸先生と松本礼児先生の